

延期開催

地域子育て支援拠点研修

<北海道開催>



子育て家庭を地域で支え合う仕組みの基盤強化のため、地域子育て支援拠点事業や利用者支援事業に携わる従事者、行政担当者対象の研修事業です。最新の行政説明とガイドラインをもとに基本4事業を深め、さらに子育て家庭の現状を踏まえた地域子育て支援拠点等の新たな役割について調査研究、事例報告やディスカッションも取り入れながら、実践的に学ぶ機会とします。

※この研修は、北海道胆振東部地震の影響で中止となった9月9日開催の日程を変更して実施するものです。

9月9日にお申込みいただいていた方もあらためてお申込みをお願いします。

◆日時 2018年12月9日(日)

10:00~16:00 (受付 9:30~)

休日のため、北海道庁別館は正面入り口のみ開錠

開錠時間 9:30~10:10 12:00~13:00

◆会場 北海道庁別館 B1 大会議室

(北海道札幌市中央区北3条西7丁目)

◆定員 100名

(事前申込・先着順・定員になり次第締切)

◆資料代 500円 (当日受付で支払)

◆対象 地域子育て支援拠点事業や場を持つ子育て支援に関わる実践者(子育てサロン・子育てサークルなどを含む)・行政関係者・研究者・子育て支援に関心のある人

◆申込み ひろば全協HPより申込みください。

*申し込み確定後、参加票となるハガキを発送します。2018年11月30日(金)までに届かない場合は、お問い合わせください。

*ご記入いただいた個人情報は、本セミナーの目的の範囲外には使用いたしません。

◆昼食 各自ご用意ください。

◆アクセス

JR札幌駅西通り南口から徒歩約8分

地下鉄南北線・東豊線さっぽろ駅

10番出口から徒歩約4分

地下鉄南北線・東西線・東豊線大通駅

2番出口から徒歩約9分



プログラム

9:30~ 受付開始
10:00~10:10 開会挨拶・主催者挨拶
10:10~11:00 **プログラム1 行政説明**

地域子育て支援拠点事業の役割と展望、 子ども・子育て支援新制度について

地域子育て支援拠点事業・利用者支援事業の概要、および子ども・家庭支援をめぐる最新情報についてご説明いただきます。

講師 厚生労働省子ども家庭局子育て支援課

11:00~12:00 **プログラム2 講義**

少子化の現状分析と子育て支援へのエール

人口の推移や社会増減、特に北海道におけるデータ等を踏まえつつ少子化の要因と背景を分析し、北海道の特徴を踏まえた子育て支援の必要性について語っていただきます。

講師 五十嵐智嘉子さん 一般社団法人
北海道総合研究調査会 理事長

お昼休み

13:00~13:30 **プログラム3 講義**

ガイドラインをもとに 地域子育て支援拠点事業の基本4事業を深める

地域子育て支援拠点事業における活動の指標「ガイドライン」改訂版をもとに基本4事業を学ぶとともに、最新の調査研究を通して拠点の新たな役割について学びましょう。

講師 新澤拓治さん 社会福祉法人雲柱社 施設長

13:30~15:55 **プログラム4 パネルディスカッション**

今求められる地域子育て支援の新たな役割

多様な子育て家庭の支援を行うにあたり、市町村の役割が強化され、地域子育て支援拠点事業に求められる機能や役割が広がっています。児童福祉法の改正、最新の調査研究、また道内外の拠点で取り組む多機能型支援等の報告を交えながらパネルディスカッションを行います。拠点の今後目指すべき姿を皆で探りましょう!

コーディネーター 奥山千鶴子 NPO法人子育てひろば全国連絡協議会 理事長

パネリスト 佐々木浩治さん 足寄町福祉課子どもセンター長(足寄郡)

中谷通恵さん NPO法人お助けネット 代表理事
(白老郡白老町)

山田智子さん NPO法人子育て応援かざぐるま 代表理事(札幌市)

コメンテーター 新澤拓治さん 社会福祉法人雲柱社 施設長(東京都練馬区)

15:55~16:00 終了挨拶

- ◆主催 NPO法人子育てひろば全国連絡協議会
- ◆後援 (社福)全国社会福祉協議会・北海道・札幌市
- ◆協力 NPO法人子育て応援かざぐるま



お申し込み方法：ひろば全協ホームページから

<http://kosodatehiroba.com/144hokkaido.html>